

対象校No.
注4

学校コード F111310101978
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
日本薬科大学 薬科学部 医療ビジネス薬科学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人 都築学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	法人総務課
職名・氏名	トミヤマロユキ 富山浩行
電話番号	048-721-6129
(夜間)	048-721-1155 (代表)
e-mail	soumu@nichiyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

薬科学部

＜医療ビジネス薬科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教育研究実施組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 都築学園

(2) 大 学 名

日本薬科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室10281 (さいたまキャンパス)

〒113-0034

東京都文京区湯島3丁目15-9 (お茶の水キャンパス)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ツツキ キミコ) 都築 仁子 (平成16年11月)		
学 長	(フクイ ツグヤ) 福井 次矢 (令和7年4月)		
学 部 長	(イノウエ ヒロコ) 井上 裕子 (令和7年4月)		
学科長等	—		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

() 書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬科学部 医療ビジネス薬科学科 学士 (医療ビジネス薬科学)	薬学関係	4 年	120 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	480 人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	120人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	— 春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	0.9倍	「—」	
志願者数	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	336 (1) [69]	人 (—) [—]				
受験者数	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	314 (1) [67]	人 (—) [—]				
合格者数	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	161 (1) [61]	人 (—) [—]				
B 入学者数	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	人 (—) [—]	107 (1) [53]	人 (—) [—]				
入学定員超過率 B／A	—		—		—		—		—		0.9					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	108 [53]	－ [－] (－)	
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4 年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計											108 [53] (一)		

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・[]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・（ ）内には、留学者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学者数、留学生数**を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	108 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜薬科学部 医療ビジネス薬科学科＞

(1)－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
必修科目	必修科目共通	統合医療入門	1前	○	1			3					3
		大学での学び	1前	○	1			2	1		1		2
		小計（2科目）	—	—	2	0	0	5	1	0	1	0	5
	自然科学	生物の基礎	1前	○	2								1
		生活の化学	1前	○	2				1				
		数学・統計学の基礎	1後	○	2								1
		情報リテラシー	1後	○	2			1					
		小計（4科目）	—	—	8	0	0	1	1	0	0	0	2
	英語	英語Ⅰ	1前	○	1				1				1
		英語Ⅱ	1後	○	1								1
		英語Ⅲ	2前	○	1								1
		小計(3科目)	—	—	3	0	0	0	1	0	0	0	1
	薬学系	人体の構造と働きⅠ	1前	○	2			1					
		薬理学Ⅰ	2前	○	2			1					
		医薬品の適正使用	2前	○	2								1
		医事業事関連法	2前	○	2				1				
		公衆衛生学	3前	○	2			1					
		医薬品の化学	3後	○	2			1					
		小計(6科目)	—	—	12	0	0	3	1	0	0	0	1
	ビジネス系	コミュニケーションスキル・トレーニング	2前	○	2								1
		発想法と問題解決研究（SGD）	3前	○	2				1				1
		小計(2科目)	—	—	4	0	0	0	1	0	0	0	2
	演習系・実習系	卒業研究	4通	○	10			13	4	2	2		
		小計(1科目)	—	—	10	0	0	13	4	2	2	0	0
選択必修科目	スポーツ薬学コース	スポーツ科学概論	1後	○	2				1				
		アンチ・ドーピング	3前	○	2								1
		スポーツマネジメント学	3後	○	2				1				
		フィットネス実習	2前	○	1				1				
		研究方法論演習	3後	○	1			1	1				
		小計（5科目）	—	—	8	0	0	1	1	1	0	0	1
	栄養薬学コース	食品微生物学	2前	○	2								1
		衛生科学	2後	○	2								1
		薬膳文化論	3後	○	2								1
		栄養・薬粧品実習	3前	○	1			1	1				
		研究方法論演習	3後	○	1			1	1				
		小計（5科目）	—	—	8	0	0	2	1	0	0	0	3
	薬学ビジネスコース	医療経済学	2前	○	2								2
		医療ビジネス実務論	2後	○	2								1
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	0	0	0	0	0	3
	情報薬学コース	診療情報管理論基礎	2前	○	2			1					
		診療情報管理論	2後	○	2			1					
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0
	韓国薬学コース	韓国薬学概論Ⅰ	2前	○	2			1					
		韓国薬学概論Ⅱ	2後	○	2			1					
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	1	0	0	0	0	0

【令和7年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
必修科目	必修科目共通	統合医療入門	1前	○	1			3		1			2
		大学での学び	1前	○	1			3			1		2
		小計（2科目）	—	—	2	0	0	6	0	1	1	0	4
	自然科学	生物の基礎	1前	○	2				1				
		生活の化学	1前	○	2				1				
		数学・統計学の基礎	1後	○	2			1					1
		情報リテラシー	1後	○	2			1					
		小計（4科目）	—	—	8	0	0	2	2	0	0	0	1
	英語	英語Ⅰ	1前	○	1				1				1
		英語Ⅱ	1後	○	1								1
		英語Ⅲ	2前	○	1								1
		小計(3科目)	—	—	3	0	0	0	1	0	0	0	1
	薬学系	人体の構造と働きⅠ	1前	○	2			1					
		薬理学Ⅰ	2前	○	2			1					
		医薬品の適正使用	2前	○	2								1
		医事業事関連法	2前	○	2				1				
		公衆衛生学	3前	○	2			1					
		医薬品の化学	3後	○	2			1					
		小計(6科目)	—	—	12	0	0	3	1	0	0	0	1
	ビジネス系	コミュニケーションスキル・トレーニング	2前	○	2			1					1
		発想法と問題解決研究（SGD）	3前	○	2			2					
		小計(2科目)	—	—	4	0	0	3	0	0	0	0	1
	演習系・実習系	卒業研究	4通	○	10			15	3	3	2		
		小計(1科目)	—	—	10	0	0	15	3	3	2	0	0
選択必修科目	スポーツ薬学コース	スポーツ科学概論	1後	○	2					1			
		アンチ・ドーピング	3前	○	2								1
		スポーツマネジメント学	3後	○	2					1			
		フィットネス実習	2前	○	1					1			
		研究方法論演習	3後	○	1			1	1				
		小計（5科目）	—	—	8	0	0	1	1	1	0	0	1
	栄養薬学コース	食品微生物学	2前	○	2								1
		衛生科学	2後	○	2						1		
		薬膳文化論	3後	○	2								1
		栄養・薬粧品実習	3前	○	1			1	1	1			
		研究方法論演習	3後	○	1			1	1				
		小計（5科目）	—	—	8	0	0	2	1	2	0	0	2
	薬学ビジネスコース	医療経済学	2前	○	2								1
		医療ビジネス実務論	2後	○	2								1
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	情報薬学コース	診療情報管理論基礎	2前	○	2			1					
		診療情報管理論	2後	○	2			2					1
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	2	0	0	0	0	1
	韓国薬学コース	韓国薬学概論Ⅰ	2前	○	2			1		1			
		韓国薬学概論Ⅱ	2後	○	2			1		1			
		小計（2科目）	—	—	4	0	0	1	0	1	0	0	0

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	主 要 授 業 科	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	人文科学系科目	哲学入門	1前			1							1
		心理学入門	1前			1							1
		人の行動	1前			1							1
		倫理学	1後			1							1
		応用心理学	1後			1							1
		地球環境と社会	1後			1		1					
		小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	0	0	0	0	3
	社会科学系科目	法学入門	1前			1							1
		経営学入門	1前			1							1
		社会福祉学入門	1前			1							1
		日常生活と法	1後			1							1
		日本国憲法	1後			2							1
		実践経営学	1後			1							1
		ソーシャルワーク	1後			1							1
		小計(7科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	学部共通科目	入門英会話	1前			1							1
		入門韓国語	1前			1							1
		入門中国語	1前			1							1
		実践英会話	1後			1							1
		実践韓国語	1後			1							1
		実用中国語	1後			1							1
		小計(6科目)	—	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	データサイエンス系科目	オフィスアプリケーションⅠ	1前			2							1
		オフィスアプリケーションⅡ	1後			2							1
		オフィスアプリケーションⅢ	1後			2							1
		コンピュータスキル実践学	1前			2							1
		プログラミング基礎	1後			2		1					
		データサイエンス入門	1前・後			2							1
		メディアコンテンツ基礎	1前			2							2
		メディアコンテンツ応用	1後			2							2
		Pythonプログラミング基礎と応用	2前			2		1					
		Pythonを使った統計解析の基礎	2後			2		1					
		データサイエンスのためのExcel	2前			2							1
		小計(11科目)	—	—	0	22	0	1	0	0	0	0	5
	外国語	日本語Ⅰ	1前			1							1
		日本語Ⅱ	1後			1							1
		日本文化Ⅰ	1前			2							1
		日本文化Ⅱ	1後			2							1
		日本語Ⅲ	2前			1							1
		日本語Ⅳ	2後			1							1
		日本文化Ⅲ	2前			2							1
		日本文化Ⅳ	2後			2							1
		小計(8科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	3
	医療経営系科目	診療報酬請求論Ⅰ	1前			2							1
		診療報酬請求論Ⅱ	1前			2							1
		診療報酬請求論Ⅲ	1後			2							1
		診療報酬請求論Ⅳ	1後			2							1
		医療経営概論	2前			2							1
		病院・薬局管理学	2後			2							1
		医療経営学	3後			2		1					
		小計(7科目)	—	—	0	14	0	1	0	0	0	0	3

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	主 要 授 業 科	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	人文科学系科目	哲学入門	1前			1							1
		心理学入門	1前			1							1
		人の行動	1前			1							1
		倫理学	1後			1							1
		応用心理学	1後			1							1
		地球環境と社会	1後			1		1					
		小計(6科目)	—	—	0	6	0	1	0	0	0	0	3
	社会科学系科目	法学入門	1前			1							1
		経営学入門	1前			1							1
		社会福祉学入門	1前			1							1
		日常生活と法	1後			1							1
		日本国憲法	1後			2							1
		実践経営学	1後			1							1
		ソーシャルワーク	1後			1							1
		小計(7科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	0	4
	学部共通科目	入門英会話	1前			1							1
		入門韓国語	1前			1							1
		入門中国語	1前			1							1
		実践英会話	1後			1							1
		実践韓国語	1後			1							1
		実用中国語	1後			1							1
		小計(6科目)	—	—	0	6	0	0	0	0	0	0	3
	データサイエンス系科目	オフィスアプリケーションⅠ	1前			2							1
		オフィスアプリケーションⅡ	1後			2							1
		オフィスアプリケーションⅢ	1後			2							1
		コンピュータスキル実践学	1前			2							1
		プログラミング基礎	1後			2		1					
		データサイエンス入門	1前・後			2		1					1
		メディアコンテンツ基礎	1前			2							2
		メディアコンテンツ応用	1後			2							2
		Pythonプログラミング基礎と応用	2前			2		1					
		Pythonを使った統計解析の基礎	2後			2		1					
		データサイエンスのためのExcel	2前			2		1			1		
		小計(11科目)	—	—	0	22	0	2	0	0	1	0	4
	外国語	日本語Ⅰ	1前			1							2
		日本語Ⅱ	1後			1							2
		日本文化Ⅰ	1前			2							2
		日本文化Ⅱ	1後			2							2
		日本語Ⅲ	2前			1							2
		日本語Ⅳ	2後			1							2
		日本文化Ⅲ	2前			2							2
		日本文化Ⅳ	2後			2							2
		小計(8科目)	—	—	0	12	0	0	0	0	0	0	3
	医療経営系科目	診療報酬請求論Ⅰ	1前			2							1
		診療報酬請求論Ⅱ	1前			2							1
		診療報酬請求論Ⅲ	1後			2							1
		診療報酬請求論Ⅳ	1後			2							1
		医療経営概論	2前			2							1
		病院・薬局管理学	2後			2							1
		医療経営学	3後			2		1			1		
		小計(7科目)	—	—	0	14	0	1	0	0	1	0	3

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目	理科教職系科目	化学講義	1後		2		1					1
		生物学講義	1後		2							1
		生物学基礎実験	1後		1		1					1
		物理学講義	2前		2							1
		地学講義	2前		2							1
		化学基礎実験	2前		1		1					1
		地学基礎実験	2後		1							1
		物理学基礎実験	2後		1							1
		小計（8科目）	—	0	12	0	1	0	0	0	0	4
	自然科学系科目	生命をミクロに理解する	1後		2		1					
		基礎科学実習	1後		1							10
		生物化学実習	2前		1							5
		物理・分析化学実習	2後		1							4
		有機化学実習	2後		1							4
		遺伝子・免疫実習	3前		1							5
		小計（6科目）	—	—	0	7	0	1	0	0	0	21
	栄養薬学コース系科目	食品科学Ⅰ	2前	○	2							1
		応用化粧品論	2後	○	2		2					
		基礎化粧品論	2前	○	2		2					
		栄養生理学	2後	○	2			1				
		栄養学概論	2前	○	2							1
		食品分析科学	2後	○	2			1				
		食品加工	3前	○	2							1
		美容論	3後	○	2		2					
		香料論	3前	○	2		1					2
		臨床栄養学	3後	○	2							1
		薬草文化論	3前	○	2							1
		漢方養生論	3後	○	2							1
		食品医薬品相互作用論	4前	○	2							1
		健康食品学	4前	○	2							1
		食品科学Ⅱ	4前	○	2							1
		小計（15科目）	—	—	0	30	0	4	1	0	0	9
	スポーツ薬学コース系科目	運動生理学	2前	○	2			1				
		スポーツバイオメカニクス	2後	○	2							1
		スポーツ医学	2後	○	2							1
		トレーニング学	2後	○	2							1
		スポーツ栄養学	2後	○	2							1
		スポーツ心理学	3前	○	2							1
		スポーツキャリア	3通	○	1			1				
		メンタルヘルスマネジメント	3後	○	2							1
		効率的な動きの解剖学	3後	○	2							1
		体力測定評価学	3後	○	2			1				
		運動生化学	4前	○	2							2
		健康づくりプログラム論	4前	○	2		1	1				
		スポーツと情報戦略	4前	○	2							1
		アスレティックトレーナー論	4前	○	2							1
		発育発達に応じたトレーニング	4前	○	2							1
		小計（15科目）	—	—	0	29	0	1	1	1	0	9

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員以外を 除く（助手）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目												
	自然科学系科目	生命をミクロに理解する	1後		2							
		基礎科学実習	1後		1							10
		生物化学実習	2前		1							5
		物理・分析化学実習	2後		1							3
		有機化学実習	2後		1							4
		遺伝子・免疫実習	3前		1							4
		小計（6科目）	—	—	0	7	0	0	1	0	0	19
	栄養薬学コース系科目	食品科学Ⅰ	2前	○	2							1
		応用化粧品論	2後	○	2			1				
		基礎化粧品論	2前	○	2			2				
		栄養生理学	2後	○	2				1			
		栄養学概論	2前	○	2				1			
		食品分析科学	2後	○	2							
		食品加工	3前	○	2							1
		美容論	3後	○	2			2				
		香料論	3前	○	2			1				1
		臨床栄養学	3後	○	2							1
		薬草文化論	3前	○	2							1
		漢方養生論	3後	○	2							1
		食品医薬品相互作用論	4前	○	2							1
		健康食品学	4前	○	2				1			
		食品科学Ⅱ	4前	○	2							1
		小計（15科目）	—	—	0	30	0	4	1	0	0	7
	スポーツ薬学コース系科目	運動生理学	2前	○	2				1			
		スポーツバイオメカニクス	2後	○	2							1
		スポーツ医学	2後	○	2							1
		トレーニング学	2後	○	2							1
		スポーツ栄養学	2後	○	2				1			
		スポーツ心理学	3前	○	2							1
		スポーツキャリア	3通	○	1					1		
		メンタルヘルスマネジメント	3後	○	2							1
		効率的な動きの解剖学	3後	○	2							1
		体力測定評価学	3後	○	2				1			
		運動生化学	4前	○	2							2
		健康づくりプログラム論	4前	○	2			1		1		
		スポーツと情報戦略	4前	○	2							1
		アスレティックトレーナー論	4前	○	2							1
		発育発達に応じたトレーニング	4前	○	2							1
		小計（15科目）	—	—	0	29	0	2	0	2	0	5

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	主 要 授 業 科	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 除 く)
				修	必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	ビジネス薬学コース系科目	会計・簿記Ⅰ	2前	○		2							1
		会計・簿記Ⅱ	2前	○		2							1
		財務・会計	2後	○		2							1
		医療会計	2後	○		2							1
		経営戦略論	3前	○		2							1
		販売戦略論	3後	○		2							1
		起業論	3後	○		2							1
		金融論	3後	○		2							1
		ファイナンシャル・プランニング論	3後	○		2							1
		ヘルスケアマネジメント論	3後	○		2							1
		社会生活と法	4前	○		2							1
		社会生活と経済	4前	○		2							1
		リスクマネジメント	4前	○		2							1
		小計(13 科目)	—	—	0	26	0	0	0	0	0	0	11
	情報薬学コース系系科目	病態と治療Ⅰ	2前	○		2							1
		病態と治療Ⅱ	2前	○		2			2				
		病態と治療Ⅲ	2前	○		2							1
		微生物と生体防御	2後	○		2							1
		臨床医学総論	2後	○		2			1				
		医療情報演習Ⅰ	2後	○		2							1
		病態と治療Ⅳ	3前	○		2							1
		医療情報演習Ⅱ	3前	○		2							1
		生活習慣と病気	3前	○		2							1
		医薬学英语	3前	○		2			2				
		医療統計学	3前	○		2							1
		医療情報学	3前	○		2			1				
		診療情報管理演習Ⅰ	3前	○		2			1				
		診療情報管理演習Ⅱ	3後	○		2			1				
	小計(14 科目)	—	—	0	28	0	4	0	0	0	0	4	
	韓国薬学コース系科目	韓国文化Ⅰ	2前	○		2							1
		韓国文化Ⅱ	2後	○		2							1
		栄養学概論	2前	○		2							1
		栄養生理学	2後	○		2				1			
		韓国研修プログラムⅠ	2通	○		2				1			
		韓国文化Ⅲ	3前	○		2							1
		韓医学	3後	○		2			1				
		接遇・ホスピタリティ	3前	○		2							1
		美容論	3後	○		2			1				
		韓国研修プログラムⅡ	3通	○		2				1			
		基礎化粧品論	4前	○		2			2				
		応用化粧品論	4後	○		2			2				
		韓国研修プログラムⅢ	4通	○		2				1			
		小計(13 科目)	—	—	0	26	0	5	2	0	0	0	3

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 修	単 位 数			基幹教員等の配置						の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
選択科目	ビジネス薬学コース系科目	会計・簿記Ⅰ	2前	○		2						1		
		会計・簿記Ⅱ	2前	○		2						1		
		財務・会計	2後	○		2						1		
		医療会計	2後	○		2						1		
		経営戦略論	3前	○		2						1		
		販売戦略論	3後	○		2						1		
		起業論	3後	○		2						1		
		金融論	3後	○		2						1		
		ファイナンシャル・プランニング論	3後	○		2						1		
		ヘルスケアマネジメント論	3後	○		2						1		
		社会生活と法	4前	○		2						1		
		社会生活と経済	4前	○		2						1		
		リスクマネジメント	4前	○		2						1		
		小計(13 科目)	—	—	0	26	0	0	0	0	0	0	11	
	情報薬学コース系系科目	病態と治療Ⅰ	2前	○		2							1	
		病態と治療Ⅱ	2前	○		2		2						
		病態と治療Ⅲ	2前	○		2							1	
		微生物と生体防御	2後	○		2							1	
		臨床医学総論	2後	○		2		1						
		医療情報演習Ⅰ	2後	○		2							1	
		病態と治療Ⅳ	3前	○		2							2	
		医療情報演習Ⅱ	3前	○		2							1	
		生活習慣と病気	3前	○		2							1	
		医薬学英语	3前	○		2		2						
		医療統計学	3前	○		2							1	
		医療情報学	3前	○		2		1						
		診療情報管理演習Ⅰ	3前	○		2		1			1		1	
		診療情報管理演習Ⅱ	3後	○		2		1			1		1	
		小計(14 科目)	—	—	0	28	0	4	0	0	1	0	5	
	韓国薬学コース系科目	韓国文化Ⅰ	2前	○		2							1	
		韓国文化Ⅱ	2後	○		2							1	
		栄養学概論	2前	○		2		1						
		栄養生理学	2後	○		2			1					
		韓国研修プログラムⅠ	2通	○		2			1					
		韓国文化Ⅲ	3前	○		2				1				
		韓医学	3後	○		2				1				
		接遇・ホスピタリティ	3前	○		2							1	
		美容論	3後	○		2		1						
		韓国研修プログラムⅡ	3通	○		2			1					
		基礎化粧品論	4前	○		2		2						
		応用化粧品論	4後	○		2		1						
		韓国研修プログラムⅢ	4通	○		2			1					
		小計(13 科目)	—	—	0	26	0	4	2	1	0	0	2	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	ヘル ス サ イ エ ン ス 系 科 目	医療と倫理	1前		2							1
		健康科学概論	1前		2			1				
		生薬学	1後		2		1					
		現代医療の中の漢方	1前		2		1					
		人体と構造の働きⅡ	1後		2		2					
		医療倫理学	1前		2		1					
		一般用医薬品学	2前		2			1				
		健康増進学	2後		2		1					1
		薬理学Ⅱ	2後		2		1					
		くすりの生体内運命	3前		2							1
		機能性食品学	3前		2							1
		疾病と治療薬	3後		2		1					
		小計(12 科目)	—	—	0	24	0	5	2	0	0	4
	スポ ー ツ 系 科 目	夏季集中体育実技	1前		1			1	1			
		冬季集中体育実技	1後		1			1	1			
		球技系種目Ⅰ	1前		2			1	1			1
		球技系種目Ⅱ	1後		2			1	1			1
		サッカーⅠ	1前		2			1	1			1
		サッカーⅡ	1後		2			1	1			1
		実践体育実技Ⅰ	1前		2			1	1			2
		実践体育実技Ⅱ	1後		2			1	1			2
		ニュースポーツⅠ	1前		2		1	1				
		ニュースポーツⅡ	1後		2		1	1				
		コンディショニング実習	1前		1				1			
		馬術	1後		1		1	1				
		スポーツ科学概論	1後	○	2				1			
		小計(13 科目)	—	—	0	22	0	1	1	1	0	2
	アド バ ン ス ト 科 目	現代社会とヘルスケアビジネスの現状	1通		1			1				
		キャリアデザイン演習Ⅰ	1通		1		2	2	1			
		キャリアデザインⅠ	1後		2		1					
		e-スポーツ概論	1通		1							2
		企画実践実習	2通		1			1				1
		キャリアデザイン演習Ⅱ	2通		1			1	1			
		キャリアデザインⅡ	2後		2		1					
		キャリアデザインⅢ	3前	○	2		1			1		
		キャリアデザイン演習Ⅲ	3通		2			1	1			
		キャリアデザインⅣ	3前	○	2		1			1		
		小計(10 科目)	—	—	0	15	0	3	3	1	1	3

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	ヘル ス サ イ エ ン ス 系 科 目	医療と倫理	1前		2							1
		健康科学概論	1前		2			1				
		生薬学	1後		2		1					
		現代医療の中の漢方	1前		2		1					
		人体と構造の働きⅡ	1後		2		2					
		医療倫理学	1前		2		1					
		一般用医薬品学	2前		2			1				
		健康増進学	2後		2							1
		薬理学Ⅱ	2後		2		1					
		くすりの生体内運命	3前		2							1
		機能性食品学	3前		2							1
		疾病と治療薬	3後		2		1					
		小計(12 科目)	—	—	0	24	0	5	2	0	0	4
	スポ ー ツ 系 科 目	夏季集中体育実技	1前		1			1	1			1
		冬季集中体育実技	1後		1			1	1			
		球技系種目Ⅰ	1前		2			1	1			1
		球技系種目Ⅱ	1後		2			1	1			1
		サッカーⅠ	1前		2			1	1			1
		サッカーⅡ	1後		2			1	1			1
		実践体育実技Ⅰ	1前		2			1	1			2
		実践体育実技Ⅱ	1後		2			1	1			2
		ニュースポーツⅠ	1前		2			2	1			1
		ニュースポーツⅡ	1後		2			2	1			1
		コンディショニング実習	1前		1				1			
		馬術	1後		1			2				
		スポーツ科学概論	1後	○	2				1			
		小計(13 科目)	—	—	0	22	0	2	1	0	0	4
	アド バ ン ス ト 科 目	現代社会とヘルスケアビジネスの現状	1通		1			1		1		
		キャリアデザイン演習Ⅰ	1通		1			3	1	2		
		キャリアデザインⅠ	1後		2		1					
		e-スポーツ概論	1通		1				1			2
		企画実践実習	2通		1							1
		キャリアデザイン演習Ⅱ	2通		1			2				
		キャリアデザインⅡ	2後		2		1					
		キャリアデザインⅢ	3前	○	2		1			1		
		キャリアデザイン演習Ⅲ	3通		2			1	1	1		
		キャリアデザインⅣ	3前	○	2		1			1		
		小計(10 科目)	—	—	0	15	0	5	2	2	2	3

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 を 除 く ）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目	教職概論	1後				2						1
	教育基礎論（原理・教育史）	1後				2						1
	教育の心理学	1後				2	1					
	理科教育法Ⅰ	2前				2						1
	教育制度（法規・制度・行政）	2前				2	1					1
	生徒指導・進路指導論	2前				2	1					
	理科教育法Ⅱ	2後				2						1
	教育課程論	2後				2						1
	教育相談	2後				2	1					
	薬学物理	2後				1						1
	理科教育法Ⅲ	3前				2	1					
	ICTを活用した教育方法・技術論	3前				2	1					1
	道徳教育	3前				2	1					1
	理科教育法Ⅳ	3後				2						1
	特別支援教育概論	3後				1						1
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	3後				2						2
	教育実習Ⅰ	4前				2	2					
	教育実習Ⅱ	4前				2	2					
	教育実習研究（事前事後指導を含む）	4前				1						1
	教職実践演習（中・高）	4後				2	2					
	小計（20科目）	—				37	2	0	0	0	0	10
実践アドバンスト科目	海外研修プログラムⅠ	1通				1	2					
	海外研修プログラムⅡ	2通				1	1					
	海外研修プログラムⅢ	3通				1	1					
	海外研修プログラムⅣ	4通				1	1					
	インターンシップ実践	3通				1	1	2				
	コーオブ教育プログラム	1・2・3・4通				1	1			1		
	小計(6科目)	—	—	0	0	6	3	2	0	1	0	0
	合計(224科目)	—	—	67	287	43	14	4	2	2	0	86
卒業要件及び履修方法												
必修科目39単位、選択必修科目(スポーツ・栄養薬学コースは各8単位、ビジネス・情報・韓国栄養コースは各4単位)を修得、学部共通選択科目の人文科学系科目、社会科学系科目、語学系科目の各科目より、1科目以上修得、データサイエンス系科目より2科目以上修得、コース系選択科目より12単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

【令和7年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 の 教 員 （ 助 手 を 除 く ）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
選択科目												
実践アドバンスト科目	海外研修プログラムⅠ	1通				1						
	海外研修プログラムⅡ	2通				1						
	海外研修プログラムⅢ	3通				1						
	海外研修プログラムⅣ	4通				1						
	インターンシップ実践	3通				1		3	1		1	1
	コーオブ教育プログラム	1・2・3・4通				1	1			1		
	小計(6科目)	—	—	0	0	6	3	2	0	1	0	1
	合計(196科目)	—	—	67	275	6	19	3	3	1	0	81
卒業要件及び履修方法												
必修科目39単位、選択必修科目(スポーツ・栄養薬学コースは各8単位、ビジネス・情報・韓国栄養コースは各4単位)を修得、学部共通選択科目の人文科学系科目、社会科学系科目、語学系科目の各科目より、1科目以上修得、データサイエンス系科目より2科目以上修得、コース系選択科目より12単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・教育課程の充実を図るために、「統合医療入門」の基幹教員等の配置を「教授3・基幹教員以外の教員3」から「教授3・講師1・基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・担当教員の採用により、「大学での学び」の基幹教員等の配置を「教授2・准教授1・助教1・基幹教員以外の教員2」から「教授3・助教1・基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「生物の基礎」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「数学・統計学の基礎」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「コミュニケーションスキル・トレーニング」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「発想法と問題解決研究（SGD）」の基幹教員等の配置を「准教授1・基幹教員以外の教員1」から「教授2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「卒業研究」の基幹教員等の配置を「教授13・准教授4・講師2・助教2」から「教授15・准教授3・講師3・助教2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「衛生科学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「講師1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「栄養・薬粧品実習」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「医療経済学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・誤記修正のため、「診療情報管理論」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授2・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「韓国薬学概論Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「韓国薬学概論Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・誤記修正のため、「データサイエンス入門」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「データサイエンスのためのExcel」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本語Ⅰ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本語Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本文化Ⅰ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本文化Ⅱ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本語Ⅲ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本語Ⅳ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本文化Ⅲ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「日本文化Ⅳ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。

- ・教育課程の充実を図るために、「医療経営学」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1」に変更。
- ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため理科教職系科目を削除。
- ・教育課程の充実を図るために、「生命をミクロに理解する」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「物理・分析化学実習」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「遺伝子・免疫実習」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「応用化粧品論」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「栄養学概論」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「香料論」の基幹教員等の配置を「教授1・基幹教員以外の教員2」から「教授1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「健康食品学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「運動生理学」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「スポーツ栄養学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格のため、「体力測定評価学」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・誤記修正のため、「健康づくりプログラム論」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「病態と治療Ⅳ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・誤記修正のため、「診療情報管理演習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・誤記修正のため、「診療情報管理演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1・助教1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「栄養学概論」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「韓国文化Ⅲ」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「講師1」に変更。
- ・時間割調整による担当者変更のため、「韓医学」の基幹教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の採用のため、「応用化粧品論」の基幹教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・誤記修正のため、「健康増進学」の基幹教員等の配置を「教授1・基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格と教育課程の充実を図るために、「夏季集中体育実技」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「冬季集中体育実技」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「球技系種目Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「球技系種目Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「サッカーⅠ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「サッカーⅡ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。

- ・担当教員の昇格により、「実践体育実技Ⅰ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1・基幹教員以外の教員2」から「教授1・講師1・基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「実践体育実技Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員の昇格と教育課程の充実を図るために、「ニューススポーツⅠ」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「ニューススポーツⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2・講師1・基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・担当教員の昇格により、「馬術」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「現代社会とヘルスケアビジネスの現状」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「准教授1・助教1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「キャリアデザイン演習Ⅰ」の基幹教員等の配置を「教授2・准教授2・講師1」から「教授3・准教授1・講師2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「キャリアデザイン演習Ⅱ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の昇格と教育課程の充実を図るために、「キャリアデザイン演習Ⅲ」の基幹教員等の配置を「准教授1・講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため理科教職系科目を削除。
- ・教育課程の充実を図るために、「海外研修プログラムⅠ」の基幹教員等の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「海外研修プログラムⅡ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「海外研修プログラムⅢ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「海外研修プログラムⅣ」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るために、「インターンシップ実践」の基幹教員等の配置を「教授1・准教授2」から「教授3・准教授1・助教1・基幹教員以外の教員1」に変更。

(注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合

（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、 兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合 （例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。

・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
34 科目	164 科目	26 科目	224 科目	34 科目 [0]	156 科目 [△ 8]	6 科目 [△20]	196 科目 [△28]	変更届による教職課程の設置が認められなかったため

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例： 1 科目減の場合：△ 1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	化学講義	2	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
2	生物学講義	2	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
3	生物学基礎実験	1	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
4	物理学講義	2	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
5	地学講義	2	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
6	化学基礎実験	1	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
7	地学基礎実験	1	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
8	物理学基礎実験	1	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
9	教職概論	2	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
10	教育基礎論（原理・教育史）	2	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
11	教育の心理学	2	1後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
12	理科教育法Ⅰ	2	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
13	教育制度（法規・制度・行政）	2	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
14	生徒指導・進路指導論	2	2前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
15	理科教育法Ⅱ	2	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
16	教育課程論	2	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
17	教育相談	2	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
18	薬学物理	1	2後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
19	理科教育法Ⅲ	2	3前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
20	ICTを活用した教育方法・技術論	2	3前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
21	道德教育	2	3前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
22	理科教育法Ⅳ	2	3後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
23	特別支援教育概論	1	3後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
24	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	2	3後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
25	教育実習Ⅰ	2	4前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
26	教育実習Ⅱ	2	4前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
27	教育実習研究（事前事後指導を含む）	1	4前	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため
28	教職実践演習（中・高）	2	4後	専門	選択	変更届による教職課程の設置が認められなかったため

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当初、当該学部（薬科学部 医療ビジネス薬科学科）に置かれる教職課程、履修方法及び教育研究実施組織等が従前の学科等の教職課程と概ね同一であるため、教職課程認定の手引き（P2の③や④）を踏まえ、「教職課程認定審査の確認事項1（1）③又は④」に基づく変更届による審査の手続きが可能だと判断し、設置届に教職課程関連科目を編成した。その後、届出設置が不可となった場合を考慮し、認可申請を行ったため、報告時の科目表から教職課程関連科目を削除（廃止）することとした。したがって、学生教育への支障はないものと思料する。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{28}{224} = \boxed{12.5} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 学校法人都築育英学園 日本経済大学と運動場を 共同使用（10,000㎡）			
	校 舎 敷 地	158,829㎡	10,000㎡	0㎡	168,829㎡				
	そ の 他	10,219㎡	0㎡	0㎡	10,219㎡				
	合 計	169,048㎡	10,000㎡	0㎡	179,048㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		35,147㎡ (35,147㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	35,147㎡ (35,147㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	74室	教員研究室	70室	学部等単位での算出不能なため、大学全体の数。			
(4)図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕冊	電子図書 〔うち外国書〕冊	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕種	機械・器具 点	標本 点	学部等単位での算出不能なため、大学全体の数。	
		薬科学部	43,043〔7,475〕 (42,120〔8,131〕)	1,363〔0〕 (1,363〔0〕)	431〔267〕 (431〔267〕)	201〔201〕 (201〔201〕)	10 (10)		0 0
	計	43,043〔7,475〕 (42,120〔8,131〕)	1,363〔0〕 (1,363〔0〕)	431〔267〕 (431〔267〕)	201〔201〕 (201〔201〕)	10 (10)	0 0		
	(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		
976㎡		0㎡		10,542㎡					
(6)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学部等単位での算出不能なため、大学全体の数。図書費には電子ジャーナルとデータベースの整備費（運用コストを含む）を含む。
		教員 1 人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円	18,000千円	18,000千円	
		共 同 研 究 費 等	2,400千円	2,400千円	設備購入費	31,500千円	31,500千円	31,500千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,600千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、手数料収入						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」
 - ・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	－
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備 考		
薬学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	－	令和7年度入学生より学生募集停止		
薬学科	6	240	－	1440	学士（薬学）	0.63		－	平成18年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281			
医療ビジネス薬科学科	4	－	－		学士（医療ビジネス薬科学）	－	－	－	平成23年度	東京都文京区湯島3丁目15-9			
薬科学部							－						
医療ビジネス薬科学科	4	120	－	120	学士（医療ビジネス薬科学）	0.90	－	－	令和7年度	埼玉県北足立郡伊奈町小室10281 東京都文京区湯島3丁目15-9			
大学全体		360	－	1560	－	0.65	－	－	－	－			

大 学 の 名 称										収容定員充足率0.7倍以下の学科数		収容定員充足率1.15倍以上の学科数	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考		

大 学 の 名 称													
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考		

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

＜薬科学部 医療ビジネス薬科学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 裕子 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		人体と構造の働きⅠ 人体と構造の働きⅡ 疾病と治療薬 応用化粧品論 卒業研究
専	教授	新井 一郎 (69) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		統合医療入門 薬理学Ⅰ 韓国薬学概論Ⅰ 韓国薬学概論Ⅱ 韓医学 薬理学Ⅱ 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ 海外研修プログラムⅢ 海外研修プログラムⅣ
専	教授	石川 泰弘 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ健康科学)
		美容論 美容論 卒業研究
専	教授	大田 祥子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)/修士(健康情報学)
		医療経営学 病態と治療Ⅱ 医薬学英语 卒業研究
専	教授	白土 真紀 (61) ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)/博士(健康科学)
		基礎化粧品論 美容論 健康増進学 健康づくりプログラム論 卒業研究
専	教授	鈴木 浩子 (64) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		大学での学び キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ インターンシップ実践 コーオブ教育プログラム 卒業研究
専	教授	陳 福士 (58) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		研究方法論演習 キャリアデザイン演習Ⅰ 海外研修プログラムⅠ 卒業研究

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井上 裕子 (63) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)
		人体と構造の働きⅠ 人体と構造の働きⅡ 疾病と治療薬 卒業研究
専	教授	新井 一郎 (69) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		統合医療入門 薬理学Ⅰ 韓国薬学概論Ⅰ 韓国薬学概論Ⅱ 薬理学Ⅱ 卒業研究
専	教授	石川 泰弘 (62) ＜令和7年4月＞ 博士(スポーツ健康科学)
		美容論 美容論 卒業研究
専	教授	大田 祥子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士(医学)/修士(健康情報学)
		医療経営学 病態と治療Ⅱ 医薬学英语 データサイエンス入門 診療情報管理論 データサイエンスのためのExcel 卒業研究
専	教授	白土 真紀 (61) ＜令和7年4月＞ 修士(医科学)/博士(健康科学)
		基礎化粧品論 美容論 応用化粧品 大学での学び 卒業研究
専	教授	鈴木 浩子 (64) ＜令和7年4月＞ 修士(教育学)
		大学での学び キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ インターンシップ実践 コーオブ教育プログラム コミュニケーションスキル・トレーニング ダ 卒業研究
専	教授	陳 福士 (58) ＜令和7年4月＞ 博士(薬学)
		研究方法論演習 キャリアデザイン演習Ⅰ キャリアデザイン演習Ⅱ 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋本 寛子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床医学総論 現代医療の中の漢方 人体と構造の働きⅡ 医療倫理学 病態と治療Ⅱ 統合医療入門 卒業研究
専	教授	村井 はるか (59) ＜令和7年4月＞ MSW
		診療情報管理論基礎 診療情報管理論 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅱ 医薬学英语 卒業研究
専	教授	村 井 保之 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー プログラミング基礎 Pythonプログラミング基礎と応用 Pythonプログラミングを使った統計解 析の基礎 医療情報学 卒業研究
専	教授	村橋 毅 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		公衆衛生学 地球環境と社会 ニューススポーツⅠ ニューススポーツⅡ 馬術 キャリアデザイン演習Ⅰ 大学での学び 卒業研究
専	教授	山路 誠一 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生薬学 統合医療入門 卒業研究
兼任	教授	井上 俊夫 (58) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		栄養・薬粧品実習 基礎化粧品論 基礎化粧品論 応用化粧品論 香料論 卒業研究
兼任	教授	櫻田 誓 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命をミクロに理解する 卒業研究
専	准教授	縣 右門 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		運動生理学 体力測定評価学 健康づくりプログラム論 夏季集中体育実技 冬季集中体育実技 ニューススポーツⅠ ニューススポーツⅡ 馬術 キャリアデザイン演習Ⅰ 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ サッカーⅠ サッカーⅡ キャリアデザイン演習Ⅱ キャリアデザイン演習Ⅲ インターンシップ実践 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ 卒業研究

【令和７年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	橋本 寛子 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		臨床医学総論 現代医療の中の漢方 人体と構造の働きⅡ 医療倫理学 病態と治療Ⅱ 統合医療入門 卒業研究
専	教授	村井 はるか (59) ＜令和7年4月＞ MSW
		診療情報管理論基礎 診療情報管理論 医薬学英语 卒業研究 インターンシップ実践
専	教授	村 井 保之 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー プログラミング基礎 Pythonプログラミング基礎と応用 Pythonプログラミングを使った統計解析 の基礎 医療情報学 卒業研究
専	教授	村橋 毅 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		公衆衛生学 地球環境と社会 ニューススポーツⅠ ニューススポーツⅡ 馬術 キャリアデザイン演習Ⅰ 大学での学び 卒業研究
専	教授	山路 誠一 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生薬学 統合医療入門 現代社会とヘルスカ7ビ7ジ7の現状 発想法と問題解決研究（SGD） 卒業研究
兼任	教授	井上 俊夫 (58) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		栄養・薬粧品実習 基礎化粧品論 基礎化粧品論 応用化粧品論 香料論 キャリアデザイン演習Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	櫻田 誓 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		卒業研究
専	教授	縣 右門 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		運動生理学 体力測定評価学 健康づくりプログラム論 夏季集中体育実技 冬季集中体育実技 ニューススポーツⅠ ニューススポーツⅡ 馬術 キャリアデザイン演習Ⅰ 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ サッカーⅠ サッカーⅡ キャリアデザイン演習Ⅱ キャリアデザイン演習Ⅲ インターンシップ実践 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	栗田 拓朗 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		発想法と問題解決研究（SGD） 現代社会とヘルスケアビジネスの現状 卒業研究
兼任	准教授	篠崎 文夏 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（水産科学）
		栄養・薬粧品実習 食品分析科学 栄養生理学 健康科学概論 企画実践実習※ 研究方法論演習（スポーツ薬学コース） 研究方法論演習（栄養薬学コース） インターンシップ実践 キャリアデザイン演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	高山 博之 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生活の化学 医事業事関連法 医薬品の化学 韓国研修プログラムⅠ 韓国研修プログラムⅡ 韓国研修プログラムⅢ 一般用医薬品学 英語Ⅰ 卒業研究
専	講師	松永 修司 (41) ＜令和7年4月＞ 修士（体育科学）
		スポーツ科学概論 フィットネス実習 スポーツマネジメント学 スポーツキャリア 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ サッカーⅠ サッカーⅡ コンディショニング実習 スポーツ科学概論 キャリアデザイン演習Ⅱ キャリアデザイン演習Ⅲ 夏季集中体育実技 冬季集中体育実技 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ キャリアデザイン演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	佐々木 裕伊 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（韓医学）
		卒業研究
専	助教	今井 菜美 (33) ＜令和7年4月＞ 博士（栄養学）
		卒業研究
専	助教	岩瀬 晴信 (48) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		大学での学び キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ コーオペ教育プログラム 卒業研究

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	篠崎 文夏 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（水産科学）
		栄養・薬粧品実習 食品分析科学 栄養生理学 健康科学概論 企画実践実習※ 研究方法論演習（スポーツ薬学コース） 研究方法論演習（栄養薬学コース） インターンシップ実践 キャリアデザイン演習Ⅰ 卒業研究
専	准教授	高山 博之 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生活の化学 医事業事関連法 医薬品の化学 韓国研修プログラムⅠ 韓国研修プログラムⅡ 韓国研修プログラムⅢ 一般用医薬品学 英語Ⅰ 海外研修プログラムⅠ 海外研修プログラムⅡ 海外研修プログラムⅢ 海外研修プログラムⅣ 卒業研究
専	講師	松永 修司 (41) ＜令和7年4月＞ 修士（体育科学）
		スポーツ科学概論 フィットネス実習 スポーツマネジメント学 スポーツキャリア 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ サッカーⅠ サッカーⅡ コンディショニング実習 ニュースポーツⅠ 夏季集中体育実技 冬季集中体育実技 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ キャリアデザイン演習Ⅰ 卒業研究
専	講師	佐々木 裕伊 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（韓医学）
		韓国薬学概論Ⅰ 韓国薬学概論Ⅱ 統合医療入門 韓国文化Ⅲ 韓医学 卒業研究 栄養・薬粧品実習
専	講師	今井 菜美 (33) ＜令和7年4月＞ 博士（栄養学）
		スポーツ栄養学 キャリアデザイン演習Ⅰ キャリアデザイン演習Ⅲ 健康づくりプログラム論 衛生科学 卒業研究
専	助教	岩瀬 晴信 (48) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		大学での学び キャリアデザインⅢ キャリアデザインⅣ コーオペ教育プログラム 卒業研究 診療情報管理演習Ⅰ 診療情報管理演習Ⅱ インターンシップ実践
兼任	助教	太田 友三子 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		現代社会とヘルスケアビジネスの現状 データサイエンスのためのExcel 医療経営学

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 俊昭 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	教授	鈴木 勝宏 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		アンチ・ドーピング
兼任	教授	高野 文英 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		統合医療入門 香料論
兼任	教授	高橋 徹 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		発想法と問題解決研究 (SGD) 基礎科学実習 栄養学概論 健康食品学
兼任	教授	都築 稔 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物の基礎
兼任	教授	中島 孝則 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		機能性食品学
兼任	教授	袴塚 高志 (63) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		統合医療入門
兼任	教授	馬場 久志 (67) ＜令和7年4月＞ 修士（教育心理学）
		大学での学び 教育の心理学 教育制度(法規・制度・行政) 生徒指導・進路指導論 教育相談 道德教育 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	原口 一広 (63) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	教授	樋口 敏幸 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		衛生科学
兼任	教授	前田 智司 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		臨床栄養学
兼任	教授	安田 高明 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	教授	山田 泰弘 (65) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		くすりの生体内運命

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	齋藤 俊昭 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	教授	鈴木 勝宏 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		アンチ・ドーピング
兼任	教授	高野 文英 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		統合医療入門 企画実践実習
専	教授	高橋 徹 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		発想法と問題解決研究 (SGD) 基礎科学実習 栄養学概論 臨床栄養学 スポーツ栄養学 数学・統計学の基礎 卒業研究 健康食品学
兼任	教授	中島 孝則 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		機能性食品学
兼任	教授	馬場 久志 (67) ＜令和7年4月＞ 修士（教育心理学）
		大学での学び
兼任	教授	原口 一広 (63) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	教授	安田 高明 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		基礎科学実習

【認可時又は届出時】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	和田 重雄 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		大学での学び 化学講義 生物学基礎実験 化学基礎実験 基礎科学実習 理科教育法Ⅲ ICTを活用した教育方法・技術論 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）
兼任	教授	渡邊 峰雄 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		食品微生物学 生物化学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	准教授	猪瀬 敦史 (50) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		生物化学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	准教授	岡田 直子 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生物化学実習
兼任	准教授	長部 誠 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		食品医薬品相互作用論 e-スポーツ概論
兼任	准教授	熊本 浩樹 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	准教授	齋藤 博 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	准教授	高城 徳子 (50) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習
兼任	准教授	瀧沢 裕輔 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習
兼任	准教授	土田 和徳 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習
兼任	准教授	三熊 敏靖 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（薬科学）
		物理・分析化学実習
兼任	講師	系数 七重 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		統合医療入門 薬膳文化論 薬草文化論

【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	和田 重雄 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		大学での学び 基礎科学実習
兼任	教授	渡邊 峰雄 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生物化学実習 食品微生物学 遺伝子・免疫実習
専	准教授	岡田 直子 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生物の基礎 生命をミクロに理解する 卒業研究
兼任	准教授	長部 誠 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		食品医薬品相互作用論 e-スポーツ概論
兼任	准教授	熊本 浩樹 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		有機化学実習
兼任	准教授	齋藤 博 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	准教授	高城 徳子 (50) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習
兼任	教授	瀧沢 裕輔 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習 くすりの生体内運命
兼任	准教授	土田 和徳 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		物理・分析化学実習
兼任	准教授	三熊 敏靖 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（薬科学）
		物理・分析化学実習
兼任	講師	系数 七重 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		統合医療入門 薬膳文化論 薬草文化論

【認可時又は届出時】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大室 智史 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		数学・統計学の基礎 物理・分析化学実習
兼任	講師	大森 崇行 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		卒業研究
兼任	講師	荻野 泰史 (39) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生物化学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	講師	片岡 裕樹 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（薬科学）
		有機化学実習
兼任	講師	西尾 信一 (67) ＜令和7年4月＞ 学士（物理学）
		基礎科学実習 物理学講義 物理学基礎実験 薬学物理
兼任	講師	福島 仁一 (70) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	助教	篠田 典子 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（感染制御科学）
		基礎科学実習 生物化学実習
兼任	助教	鈴木 萌子 (30) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	助教	前田 貴広 (32) ＜令和7年4月＞ 博士（感染症学）
		基礎科学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	助手	中村 有貴 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		基礎科学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	講師	Smith Bryan (43) ＜令和7年4月＞ MSE
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 入門英会話 実践英会話

【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大室 智史 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		数学・統計学の基礎
兼任	講師	荻野 泰史 (39) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		生物化学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	講師	片岡 裕樹 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（薬科学）
		有機化学実習
兼任	講師	西尾 信一 (67) ＜令和7年4月＞ 学士（物理学）
		基礎科学実習 薬学物理
兼任	講師	福島 仁一 (70) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	助教	篠田 典子 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（感染制御科学）
		基礎科学実習 生物化学実習
兼任	助教	鈴木 萌子 (30) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		基礎科学実習
兼任	助教	前田 貴広 (32) ＜令和7年4月＞ 博士（感染症学）
		基礎科学実習 遺伝子・免疫実習 生物化学実習
兼任	助手	中村 有貴 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（薬学）
		基礎科学実習 遺伝子・免疫実習
兼任	講師	Smith Bryan (43) ＜令和7年4月＞ MSE
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 入門英会話 実践英会話

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	東 伸行 (66) ＜令和7年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツと情報戦略
兼任	講師	石倉 憲治 (76) ＜令和7年4月＞ 修士（社会）
		経営学入門 実践経営学
兼任	講師	磯田 三津子 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教育課程論
兼任	講師	梅國 智子 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食品加工
兼任	講師	江口 桃子 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		コミュニケーションスキル・トレーニング
兼任	講師	大井 はるえ (62) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		道德教育 特別活動・総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	大上 哲也 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		e-スポーツ概論
兼任	講師	大山 良治 (72) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		医薬品の適正使用 医療統計学
兼任	講師	大和田 周資 (45) ＜令和7年4月＞ 修士
		法学入門 日常生活と法 社会生活と法
兼任	講師	海保 恵子 (45) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		日本文化Ⅰ 日本文化Ⅱ 日本文化Ⅲ 日本文化Ⅳ

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	東 伸行 (66) ＜令和7年4月＞ 修士（体育学）
		スポーツと情報戦略 ニューススポーツⅠ
兼任	講師	石倉 憲治 (76) ＜令和7年4月＞ 修士（社会）
		経営学入門 実践経営学
兼任	講師	梅國 智子 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		食品加工
兼任	講師	江口 桃子 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		コミュニケーションスキル・トレーニング
兼任	講師	大上 哲也 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		e-スポーツ概論
兼任	講師	大山 良治 (72) ＜令和7年4月＞ 博士（薬学）
		医薬品の適正使用 医療統計学
兼任	講師	大和田 周資 (45) ＜令和7年4月＞ 修士
		法学入門 日常生活と法 社会生活と法
兼任	講師	海保 恵子 (45) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		日本文化Ⅰ 日本文化Ⅱ 日本文化Ⅲ 日本文化Ⅳ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	加藤 明良 (65) ＜令和7年4月＞ 学士（教育学）
		地学講義 地学基礎実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅳ
兼任	講師	河合 裕 (71) ＜令和7年4月＞ 学士（経済）
		医療経済学 販売戦略論
兼任	講師	木岡 一輝 (28) ＜令和7年4月＞ 博士（体育学）
		運動生化学
兼任	講師	木原 雄二 (71) ＜令和7年4月＞ 学士
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本文化Ⅰ 日本文化Ⅱ 日本文化Ⅲ 日本文化Ⅳ
兼任	講師	木村 浩吉 (63) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		サッカーⅠ サッカーⅡ 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ
兼任	講師	京ヶ島 守 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		微生物と生体防御 生活習慣と病気
兼任	講師	具志堅 武 (38) ＜令和7年4月＞ 博士（体育）
		トレーニング学 発育発達に応じたトレーニング 健康増進学
兼任	講師	栗林 鎮良 (68) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		ファイナンシャル・プランニング論
兼任	講師	小坂 浩之 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（薬）
		起業論

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河合 裕 (71) ＜令和7年4月＞ 学士（経済）
		医療経済学 販売戦略論
兼任	講師	木岡 一輝 (28) ＜令和7年4月＞ 博士（体育学）
		運動生化学
兼任	講師	木原 雄二 (71) ＜令和7年4月＞ 学士
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本文化Ⅰ 日本文化Ⅱ 日本文化Ⅲ 日本文化Ⅳ
兼任	講師	木村 浩吉 (63) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		サッカーⅠ サッカーⅡ 球技系種目Ⅰ 球技系種目Ⅱ 実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ
兼任	講師	京ヶ島 守 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		微生物と生体防御 生活習慣と病気
兼任	講師	具志堅 武 (38) ＜令和7年4月＞ 博士（体育）
		トレーニング学 発育発達に応じたトレーニング 健康増進学
兼任	講師	栗林 鎮良 (68) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		ファイナンシャル・プランニング論
兼任	講師	小坂 浩之 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（薬）
		起業論

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	櫻堂 渉 (68) ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）
		医療経営概論
兼任	講師	佐藤 正浩 (62) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		金融論
兼任	講師	佐藤 隆一郎 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ
兼任	講師	申 貞恩 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		韓国文化Ⅰ 韓国文化Ⅱ 韓国文化Ⅲ
兼任	講師	神野 英明 (60) ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）
		心理学入門
兼任	講師	杉山 雅宏 (61) ＜令和7年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	鈴木 悠介 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（総合科学）
		スポーツ心理学 メンタルヘルスマネジメント
兼任	講師	鈴木 養平 (56) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		漢方養生論
兼任	講師	蘭部 幸枝 (62) ＜令和7年4月＞ 博士（学術博士）
		生物学講義 生物学基礎実験 理科教育法Ⅱ 教育実習研究（事前事後指導を含む）

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	櫻堂 渉 (68) ＜令和7年4月＞ 修士（経営学）
		医療経営概論
兼任	講師	佐藤 正浩 (62) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		金融論
兼任	講師	佐藤 隆一郎 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ
兼任	講師	申 貞恩 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		韓国文化Ⅰ 韓国文化Ⅱ 韓国文化Ⅲ
兼任	講師	神野 英明 (60) ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）
		心理学入門 応用心理学
兼任	講師	杉山 雅宏 (61) ＜令和7年4月＞ 修士（法学）
		日本国憲法
兼任	講師	鈴木 悠介 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（総合科学）
		スポーツ心理学 メンタルヘルスマネジメント
兼任	講師	鈴木 養平 (56) ＜令和7年4月＞ 学士（薬学）
		漢方養生論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平 阿佐美 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	多賀 万里子 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（教授システム学）
		データサイエンス入門 データサイエンス入門
兼任	講師	高市 幸男 (70) ＜令和7年4月＞ 博士（政策）
		リスクマネジメント
兼任	講師	高尾 公矢 (75) ＜令和7年4月＞ 博士（政治学）
		社会福祉学入門 ソーシャルワーク
兼任	講師	高原 史郎 (67) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		特別活動・総合的な学習の時間の指導
兼任	講師	田中 裕美子 (54) ＜令和7年4月＞ 短期大学士
		診療報酬請求論Ⅰ 診療報酬請求論Ⅱ 診療報酬請求論Ⅲ 診療報酬請求論Ⅳ
兼任	講師	張 月珍 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		入門中国語 実用中国語
兼任	講師	寺崎 恵子 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（人文科学）
		教育基礎論（原理・教育史）
兼任	講師	富岡 薫 (31)＜令和7年4月＞ 修士（哲学・倫理学）
		哲学入門 倫理学
兼任	講師	長坂 聡子 (45)＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		スポーツ栄養学
兼任	講師	中田 盛之 (62) ＜令和7年4月＞ 学士（スポーツ科学）
		実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ
兼任	講師	中山 高秀 (69) ＜令和7年4月＞ 学士（情報工学）
		医療ビジネス実務論

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	平 阿佐美 (49) ＜令和7年4月＞ 学士（文学）
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ
兼任	講師	多賀 万里子 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（教授システム学）
		データサイエンス入門 データサイエンス入門
兼任	講師	高市 幸男 (70) ＜令和7年4月＞ 博士（政策）
		リスクマネジメント
兼任	講師	高尾 公矢 (75) ＜令和7年4月＞ 博士（政治学）
		社会福祉学入門 ソーシャルワーク
兼任	講師	田中 裕美子 (54) ＜令和7年4月＞ 短期大学士
		診療報酬請求論Ⅰ 診療報酬請求論Ⅱ 診療報酬請求論Ⅲ 診療報酬請求論Ⅳ
兼任	講師	張 月珍 (47) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		入門中国語 実用中国語
兼任	講師	寺崎 恵子 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（人文科学）
		教育基礎論（原理・教育史）
兼任	講師	富岡 薫 (31)＜令和7年4月＞ 修士（哲学・倫理学）
		哲学入門 倫理学 医療と倫理
兼任	講師	中田 盛之 (62) ＜令和7年4月＞ 学士（スポーツ科学）
		実践体育実技Ⅰ 実践体育実技Ⅱ
兼任	講師	中山 高秀 (69) ＜令和7年4月＞ 学士（情報工学）
		医療ビジネス実務論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西澤 延宏 (68) ＜令和7年4月＞ 学士（医）
		病院・薬局管理学
兼任	講師	野崎 敦史 (50) ＜令和7年4月＞ 専門学校（情報）
		オフィスアプリケーションⅠ オフィスアプリケーションⅡ オフィスアプリケーションⅢ メディアコンテンツ基礎 メディアコンテンツ応用
兼任	講師	野村 春文 (69) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		特別支援教育概論
兼任	講師	長谷川 登志夫 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		化学講義 化学基礎実験 香料論
兼任	講師	馬場 里沙子 (37) ＜令和7年4月＞ 修士（経営管理）
		接遇・ホスピタリティ
兼任	講師	広野 泰子 (36) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		スポーツバイオメカニクス
兼任	講師	星 多絵子 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		医療会計 医療経済学
兼任	講師	前田 京子 (58) ＜令和7年4月＞ 短期大学士（国文科）
		人の行動 ヘルスケアマネジメント論
兼任	講師	三上 智也 (60) ＜令和7年4月＞ 専門学校（税理士）
		経営戦略論
兼任	講師	三上 龍之介 (25) ＜令和7年4月＞ 修士（情報）
		メディアコンテンツ基礎 メディアコンテンツ応用

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西澤 延宏 (68) ＜令和7年4月＞ 学士（医）
		病院・薬局管理学
兼任	講師	野崎 敦史 (50) ＜令和7年4月＞ 専門学校（情報）
		オフィスアプリケーションⅠ オフィスアプリケーションⅡ オフィスアプリケーションⅢ メディアコンテンツ基礎 メディアコンテンツ応用
兼任	講師	野村 春文 (69) ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		特別支援教育概論
兼任	講師	長谷川 登志夫 (67) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		化学講義 化学基礎実験 香料論
兼任	講師	馬場 里沙子 (37) ＜令和7年4月＞ 修士（経営管理）
		接遇・ホスピタリティ
兼任	講師	広野 泰子 (36) ＜令和7年4月＞ 修士（スポーツ科学）
		スポーツバイオメカニクス
兼任	講師	星 多絵子 (51) ＜令和7年4月＞ 学士（法）
		医療会計 医療経済学
兼任	講師	前田 京子 (58) ＜令和7年4月＞ 短期大学士（国文科）
		人の行動 ヘルスケアマネジメント論
兼任	講師	三上 智也 (60) ＜令和7年4月＞ 専門学校（税理士）
		経営戦略論
兼任	講師	三上 龍之介 (25) ＜令和7年4月＞ 修士（情報）
		メディアコンテンツ基礎 メディアコンテンツ応用

【認可時又は届出時】			【令和７年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	三島 重顕 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（経済）	兼任	講師	三島 重顕 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（経済）
		社会生活と経済			社会生活と経済
兼任	講師	水谷 有里 (42) ＜令和7年4月＞ 学士（医学）			
		スポーツ医学			
兼任	講師	八木 裕之 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（会計）	兼任	講師	八木 裕之 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（会計）
		会計・簿記Ⅰ 会計・簿記Ⅱ 財務・会計			会計・簿記Ⅰ 会計・簿記Ⅱ 財務・会計
兼任	講師	安原 輝彦 (68) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）			
		教職概論			
兼任	講師	山田 恵吾 (56) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）			
		教育制度(法規・制度・行政)			
兼任	講師	柳 春美 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（語学）	兼任	講師	柳 春美 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（語学）
		入門韓国語 実践韓国語			入門韓国語 実践韓国語
兼任	講師	横山 悠亮 (39) ＜令和7年4月＞ 学士（心理学）	兼任	講師	横山 悠亮 (39) ＜令和7年4月＞ 学士（心理学）
		コンピュータスキル実践学			コンピュータスキル実践学
兼任	講師	吉崎 太志 (28) ＜令和7年4月＞ 専門学校（スポーツ医療）	兼任	講師	吉崎 太志 (28) ＜令和7年4月＞ 専門学校（スポーツ医療）
		効率的な動きの解剖学 アスレティックトレーナー論			効率的な動きの解剖学 アスレティックトレーナー論 スポーツ医学
兼任	講師	吉武 理香子 (28) ＜令和7年4月＞ 修士（体育）	兼任	講師	吉武 理香子 (28) ＜令和7年4月＞ 修士（体育）
		運動生化学			運動生化学
兼任	講師	脇田 紀子 (70) ＜令和7年4月＞ 学士（社会教育心理学）	兼任	講師	脇田 紀子 (70) ＜令和7年4月＞ 学士（社会教育心理学）
		医療情報演習Ⅰ 医療情報演習Ⅱ			医療情報演習Ⅰ 医療情報演習Ⅱ 診療情報管理論 インターンシップ実践
兼任	講師	渡邊 直 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（医）	兼任	講師	渡邊 直 (69) ＜令和7年4月＞ 博士（医）
		病態と治療Ⅰ 病態と治療Ⅲ			病態と治療Ⅰ 病態と治療Ⅲ

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
- ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

・時間割編成において授業科目担当者の変更「井上 裕子」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加及び変更「新井 一郎」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「大田 祥子」 ・時間割編成において授業科目担当者の変更及び追加「白土 真紀」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「鈴木 浩子」 ・時間割編成において授業科目担当者の変更及び追加「陳 福士」 ・時間割編成において授業科目担当者の変更及び追加「村井 はるか」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「山路 誠一」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「井上 俊夫」 ・時間割編成において授業科目担当者の変更「櫻田 誓」 ・昇任に伴う職名の変更「縣 右門」 ・学部異動に伴う授業科目担当者の変更「栗田 卓朗」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「高山 博之」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加及び変更「松永 修司」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「佐々木 裕伊」 ・昇任に伴う職名の変更及び授業科目担当者の追加「今井 菜美」 ・時間割編成において授業科目担当者の追加「岩瀬 晴信」 ・学部異動に伴う授業科目担当者の追加「太田 友三子」 ・時間割編成において授業科目担当者の変更及び追加「高野 文英」 ・学部異動に伴う兼担、専任の変更及び授業科目担当者の追加「高橋 徹」 ・退職に伴う、授業科目担当者的変更「都築 稔」 ・退職に伴う、授業科目担当者的変更「袴塚 高志」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「馬場 久志」 ・時間割編成において、授業科目担当者的変更「樋口 敏幸」 ・時間割編成において、授業科目担当者的変更「前田 智司」 ・退職に伴う、授業科目担当者的変更「山田 泰弘」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「和田 重雄」 ・国外研修に伴う担当科目の変更「猪瀬 敦史」 ・学部異動に伴う兼担、専任の変更並びに授業科目担当者的変更及び追加「岡田 直子」 ・昇任に伴う職名の変更及び授業科目担当者的変更「瀧沢 祐輔」

・退職に伴う兼担、兼任の変更及び授業科目担当者的変更「大室 智史」 ・時間割編成において、授業科目担当者的変更「大森 崇行」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「西尾 信一」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「前田 貴広」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「東 伸行」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「磯田 三津子」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「大井 はるえ」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「海保 恵子」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「加藤 明良」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「神野 英明」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「蘭部 幸枝」 ・時間割編成において授業科目担当者的変更「平 阿佐美」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「高原 史郎」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「富岡 薫」 ・時間割編成において、授業科目担当者的変更「長坂 聡子」 ・時間割編成において、授業科目担当者的変更「水谷 有里」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「安原 輝彦」 ・薬科学部医療ビジネス薬科学科へ改組のため教職課程科目を削除「山田 恵吾」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「吉崎 太志」 ・時間割編成において授業科目担当者的追加「脇田 紀子」
--

(注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合**は、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）

- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
15名	8名	12名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B'）
14	4	2	2	22	19	0	14	4	3	1	22	19	0
-14	-4	-2	-2	-22	-19	0							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D'）
14	4	3	1	22	19	0	14	4	3	1	22	19	0
[14]	[4]	[3]	[1]	[22]	[19]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基―」及び「基専」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）」欄には「―」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授：65歳 准教授：60歳 歳	3名	6名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在(報告時)の完成年度時の状況(C)
設置時の計画(A)

= 22 / 22 = 100 %

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')
設置時の計画(A')

= 19 / 19 = 100 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
現在(報告時)の状況(B)

= 3 / 22 = 13.63 %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C')
設置時の計画(A')

= 0 / 0 = - %

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由
(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番	号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1		准教授	栗田 拓郎	R7.3	必修	発想法と問題解決法	①	大学としての教育組織の編制の見直しによる学内異動のため						
					選択	現代社会とヘルスケアビジネスの現状	①							
					必修	卒業研究	①							
合計（D）					後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）			②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1		人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
			選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
			自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
			計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」

・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		「該当なし」					「該当なし」			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」

・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{22} = 4.54\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1人

(注)・（3）－①、（3）－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・令和7年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
〇〇	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」

・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

薬科学部設置届出書(6.11.29)を、受理(7.1.23)された後、学長交代及び教員の退職等に伴う教員組織の見直しにより、薬科学部の基幹教員(准教授1名)を薬学部薬学科に学内異動し、後任に薬科学部の准教授(同職位)を配置した。また、担当予定科目を、他の基幹教員を担当させたことにより、学生教育の質への影響はないものと思料する。届出から開講までに教員編成を学生に公開していないことから、令和7年4月に大学の公式サイトに公開したことで、学生への周知方法に問題はないと思料する。

(注)・上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届出時 (令和7年)	完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施曾々木における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【届出】 遵守事項		履行中	中・長期な人事計画（教員組織編制の将来構想）に基づき、適任な教員の採用に努めるとともに、昇格又は異動により教員を適正配置して、基幹教員の高齢化を着実に抑制する。
届出時 (令和7年)	薬学部薬学科の収容定員未充足の是正に努めること。	【届出】 遵守事項		履行中	構内施設等の整備や修学支援の充実による大学の魅力化、インターネットやSNS等の広報ツールを活用した募集広報活動及び教職員による積極的な高校等訪問による学生の獲得により、着実に収容定員充足率の改善を図る。
届出時 (令和7年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【届出】 遵守事項		履行中	学内・外のネットワークを活用したオンライン教育の実施により、講義の質の均一化を図る。教員はお茶の水キャンパス、さいたまキャンパスそれぞれへの出勤日を定め、教育研究等に不都合が生じないように努める。さいたまキャンパスでの入学前教育、入学直後の軽井沢での研修会等においては両キャンパスの学生が交流できるようにプログラムを編成する。実験・実習における薬学部及び薬科学部が共有する実験施設を利用することにより、それぞれのキャンパス（2校地）の学生相互の交流を深める。課外活動においても、両キャンパスの学生交流を促進していく。

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
- 【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】
- 令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。
- 【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
- その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜薬科学部 医療ビジネス薬科学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当（変更）なし」	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

令和7年度、「教員の教育スキル向上及び研究の推進」するためのFD委員会と、「教育環境の変化に対応し得る大学運営に必要な大学事務職員としての資質及び識能を向上」するためのSD委員会を統合し、教職協働による教育研究活動の質的向上のための実効性あるFD・SD推進委員会を編成して体制を確立した。
【添付資料】FD・SD推進委員会規程

b 委員会の開催状況

委員会は、1回／月基準で開催（予定）

c 委員会の審議事項等

- ・ FD・SD推進に関すること。
- ・ FDの企画・立案及び実施、運営に関すること。
- ・ SDの企画・立案及び実施、運営に関すること。

② 実施状況

a 実施内容（予定）

- ・ FD・SD研修会の実施（1回／月基準）
- ・ FD・SD研究会の実施（2回／年予定）
- ・ 教員評価（自己申告書）の継続的な見直し
- ・ 教員の臨床研修の場を活用した研修
- ・ 授業評価アンケート及び授業参観
- ・ 新任教員、研究ファンド獲得教員及び外部講師等に講演
- ・ 各種ワーキンググループによる教職員の資質向上施策の検討

b 実施方法

- ・ 講演や討議等による研究会・研究会の実施
- ・ 教員評価（自己申告書）による教員の教育意欲の向上
- ・ 臨床研修の実施とその成果の学生教育への反映
- ・ 授業評価アンケート及び教職員による授業参観による教育力の向上
- ・ 効率的な教育研究業績の公表
- ・ 教員の研究成果の発表の場の設定（日薬研究会）
- ・ 職員計画で授業参観を行い結果を総務課に報告
- ・ 研修会に参加後、成果報告を総務課に提出
- ・ 事務長が指定した職員が、学事・業務関する報告書案を作成、事務長の確認・修正後に日報を本部に提出

c 開催状況（教員の参加状況含む） 令和7年5月1日現在

- ・ 第1回 FD・SD研修会
- （1）テーマ：「学修意欲や登校率が低下している学生への対応」
- （2）時期：令和7年4月24日（木）
- （3）講師：部外講師
- （4）内容：学生支援と教育、学生の年代（青年期について）、近年の傾向、考慮できそうなこと

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育に係る教職員は、第1回研修会の成果を、担当する授業及び所掌事務等に反映している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期（予定）

各授業科目の最終講義においてアンケートを実施

b 教員や学生への公開状況、方法等（予定）

令和7年度末、学内ネットワークに掲載するか、アンケート綴を図書館に設置して教員及び学生が閲覧できるようにする。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制 「該当なし」

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況 「該当なし」

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和7年4月に開講し、令和7年5月1日現在の入学等状況（志願者数、受験者数、入学者数及び学生数等）は確定しているが、所掌部署の解析のみで、全学的な解析等を行っていないことから、大学としての「総括評価・所見」を策定していない。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和13年5月1日 公表予定（公益財団法人 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審後）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を大学公式サイトに掲載し公開する予定（時期は未定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和12年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の受審について、学内で検討中です。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☒ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

日本薬科大学FD・SD推進委員会規程

(設 置)

第 1 条 本学に、FD（ファカルティ・ディベロップメント）及びSD（スタッフ・ディベロップメント）に関する諸課題を検討するために、FD・SD推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(構 成)

第 2 条 委員会は次の各号に掲げる委員をもって構成する。

(1) 薬学部長及び薬科学部長、事務長

(2) 学長が指名する教職員

2 委員長は、学長が指名する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、再選を妨げない。

4 委員長は、必要と認めた場合は、委員以外の者を会議に出席させることができ

(会 議)

第 3 条 委員長は委員会を招集する。

2 委員会は、全委員の2分の1以上の出席により成立する。

3 議事は、出席者の過半数以上の賛成をもって議決したものとする。

(審 議)

第 4 条 委員会は、次の事項を審議し、推進する。

(1) FD・SD推進に関すること

(2) FDの企画・立案及び実施、運営に関すること。

(3) SDの企画・立案及び実施、運営に関すること。

(事 務)

第 5 条 委員会に関する事務は、総務課が担当する。

(改 廃)

第 6 条 この規程の改廃は、教授会の意見を聴いて学長が定める。

附 則

1. この規程は、令和7年4月1日から施行する。

2. FD委員会規程及び、SD委員会規程は廃止する。